

労働調査協議会・2025年度共同調査 「若者の考える今と未来」 結果からのキートピック

○調査の目的

「若者」の意識や行動が注目を集めています。また、職場ではDX化が進み、キャリア自立が求められるなど、働き方も大きく変化しています。

仕事やライフスタイルについて、「若者」が考える「今」と「未来」を明らかにし、今後、職場はどのように変化していくのか、また、労働組合はどのような活動を進めていくべきかを検討するために実施しました。

Z世代 SNS 変化する社会
〇〇ガチャ 働き方の変化
DX化 キャリアの自立

「若者」が考える「今」「未来」は？

1

回答者のプロフィール（第1章）

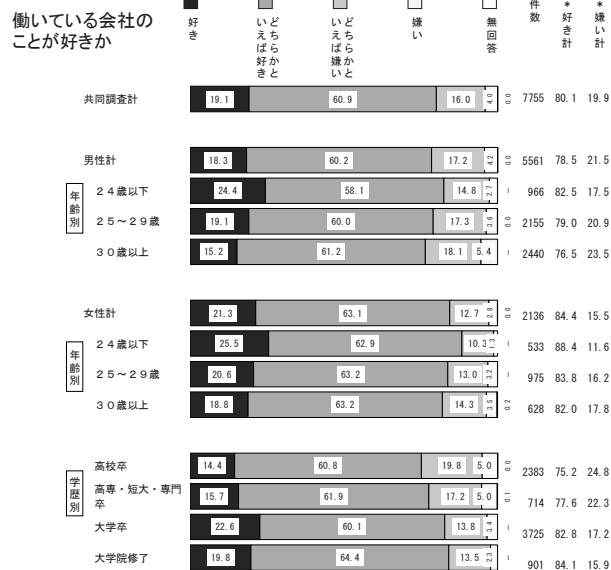
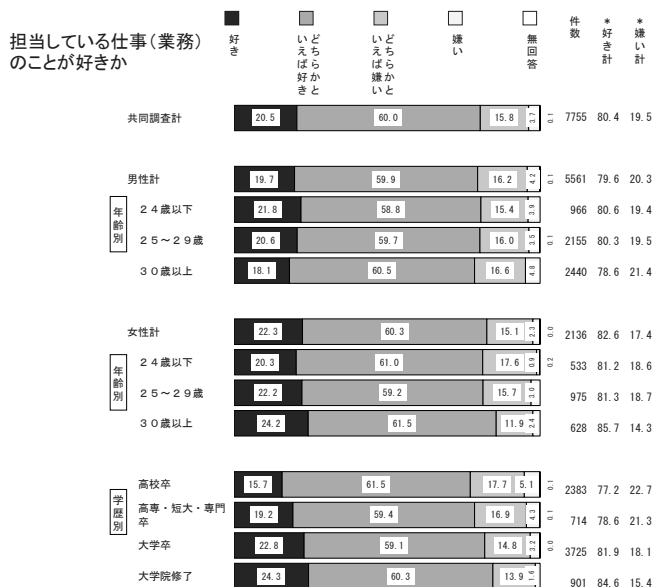
- 職種は、「技術／SE／研究」(30.6%)が最多、次いで「製造／輸送／技能労務」(23.2%)が2割強、「一般事務」(14.8%)と「医療／福祉／教育」(14.6%)がともに1割台半ば
- 平均的な月の残業時間(休日労働を含む)は、「ない」(14.9%)は1割台にとどまり、「10 時間程度」(28.6%)と「20 時間程度」(26.2%)を中心に分散、平均残業時間は22.6 時間(中央値:22.4時間)
- 在宅勤務は「行っていない」(81.2%)が8割強、企画／営業では5割強が週1日以上、在宅勤務を実施
- 転職経験が「ある」は14.2%、30歳以上では男性で2割強、女性は3割近く
- 組合役員「経験なし」が54.7%、「現在、支部・本部の執行委員」が18.8%、「現在、職場委員、支部委員など」は17.1%
- 「配偶者」(パートナー)が「いる」は男性38.9%、女性29.0%、子どもが「いる」は男性23.7%、女性10.1%
- 本人年収は、400万円台～500万円台が中心で平均508万円(中央値:492万円)
- 奨学金を<利用していた>割合は31.5%。
大学卒以上では<利用していた>が4～5割、「返済中」の人も全体の3～4割

2

現在の仕事、職場、会社（第2章）

担当している仕事（業務）や働いている会社をどうみているか？

◆ 多くが「担当している仕事（業務）」が好き
「働いている会社」のことも好き



3

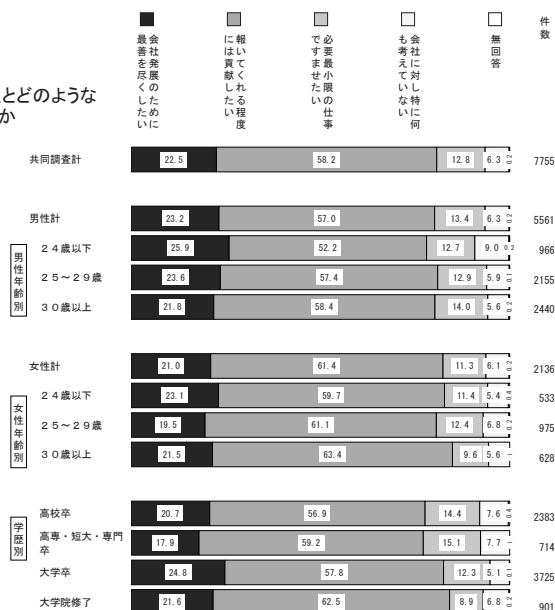
現在の仕事、職場、会社（第2章）

多くは担当している仕事（業務）や会社が好き、ただし働いている会社との関係性をみると……

➤ 「会社発展のために最善を尽くしたい」は22.5%

働いている会社とどのような関係でありたいか

◆ 多くは仕事や会社を好き。しかし、会社への積極的な貢献意欲は2割



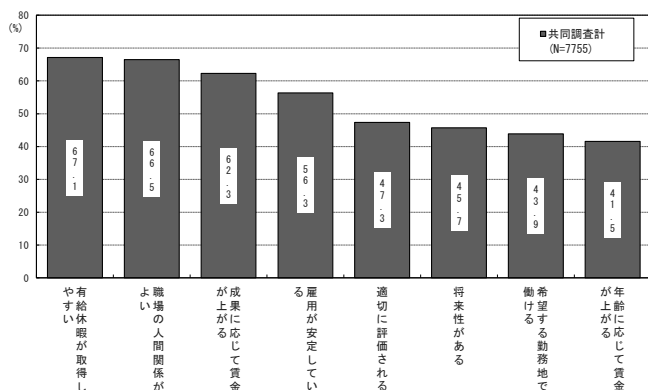
4

職場や仕事での重視点（第3章）

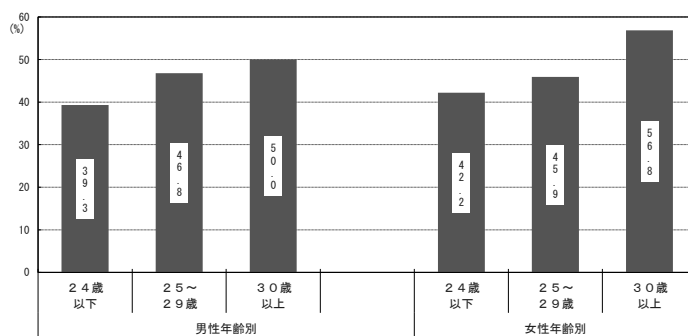
- 「有給休暇が取得しやすい」(67.1%)、「職場の人間関係がよい」(66.5%)、「成果に応じて賃金上がる」(62.3%)が6割台で上位、以下「雇用が安定している」(56.3%)、「適切に評価される」(47.3%)が続く
- しかし「適切に評価される」には年齢間の差がある

◆ キャリアを積むほど、評価という承認欲求は高まり、適切性や納得性がより求められるようになる

仕事で重視すること(複数選択、比率が40%以上の項目)



仕事で重視すること(複数選択、性別年齢別、「適切に評価される」の比率)



5

今後のキャリア（第4章）

4人に1人が「転職」を意識、人材定着に重要な主な3領域

【領域① 仕事や会社との関係】

- 仕事や会社への高い好感度

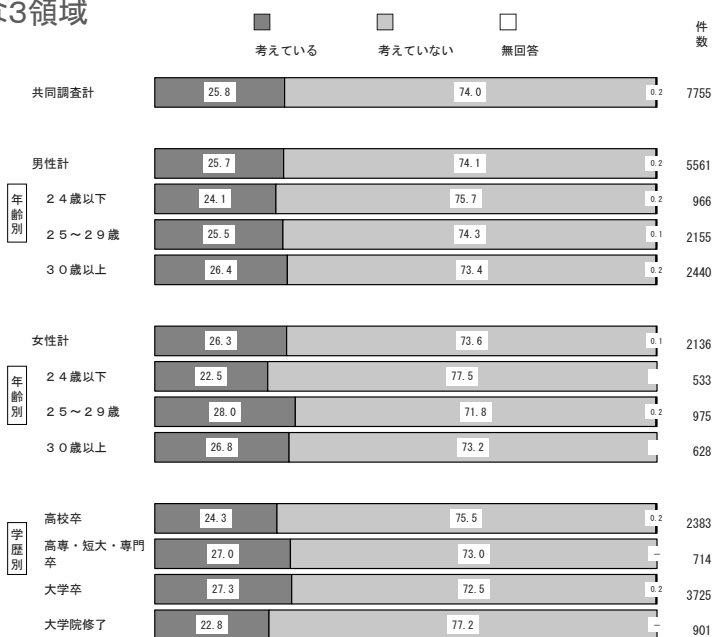
【領域② 上司・先輩、職場環境】

- ロールモデルの可視化
- 評価に対する納得感
- 良好なチームワーク体制

【領域③ 職業能力・スキル】

- 職業能力・スキル形成の支援
- 他社で職業能力が通用しない不安の解消
(しかし職業能力に対する“強い自信”は
転職志向を高めるジレンマも)

転職について



6

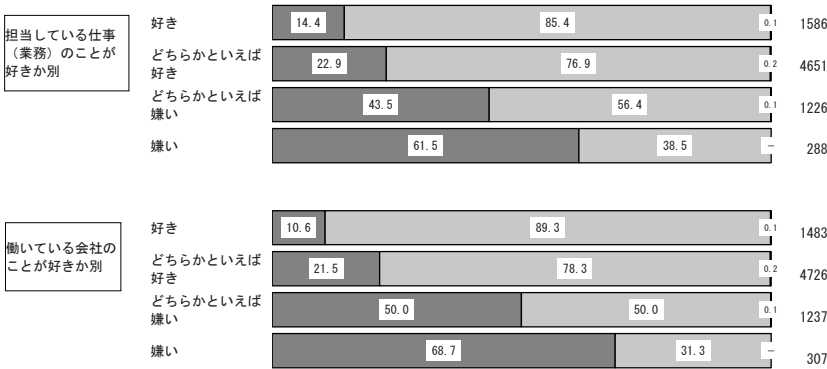
今後のキャリア（第4章）

転職を考える要因は？

【①仕事や会社との関係から】

- ◆ 仕事や会社が好きだと転職をあまり考えない
- ◆ 嫌いだと半数以上が転職を考える

転職について



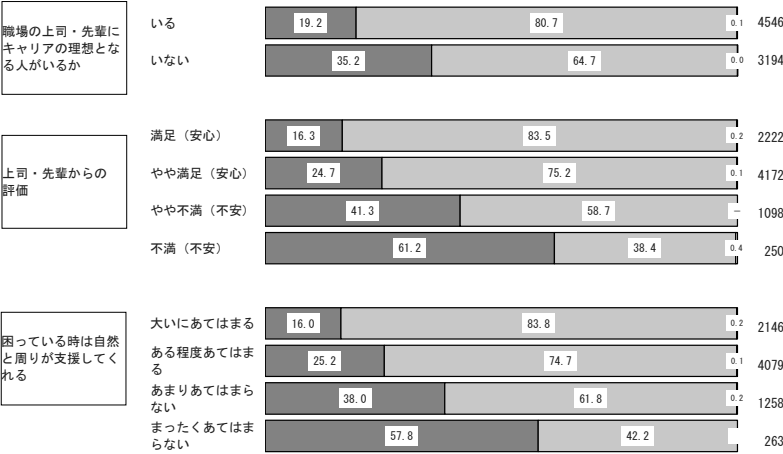
今後のキャリア（第4章）

転職を考える要因は？

【②上司・先輩、職場環境から】

- ◆ 人材定着に有効になりうるのは
 - ・ ロールモデルを可視化しキャリアの将来像を描くこと
 - ・ 上司・先輩からの評価に対する納得感を高めるためのフィードバック
 - ・ 良好なチームワーク体制の構築

転職について[上司・先輩、職場環境との関連]



今後のキャリア（第4章）

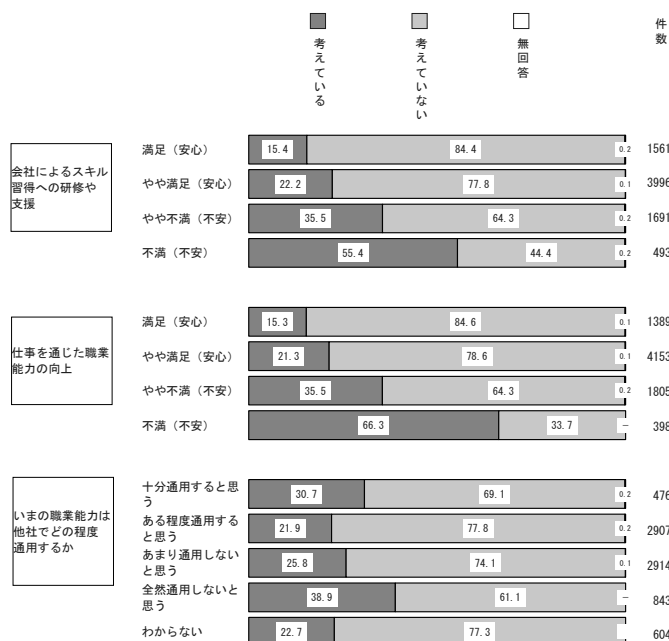
転職を考える要因は？

【③職業能力・スキルから】

◆ 人材定着に有効になりうるのは、
職業能力・スキルの形成支援

- ◆ 他社で「職業能力が通用しない」という不安は転職志向を高める
- ◆ しかし「十分に通用する」という自信も転職を考えるきっかけになりうる
- ◆ 他社での職業能力の通用度と転職志向の関係には両極的な傾向がみられる

転職について[職業能力・スキルとの関連]

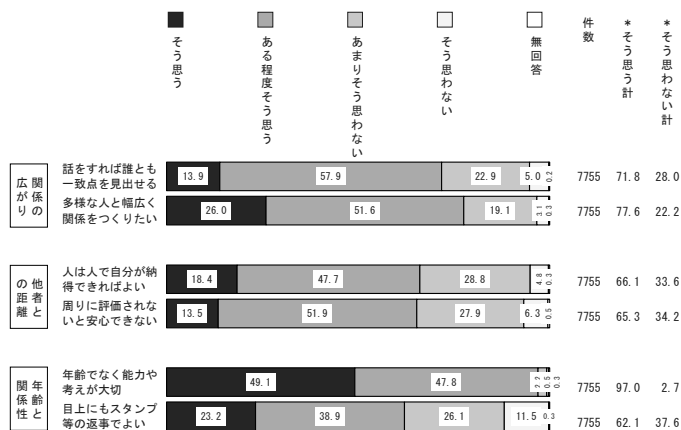


9

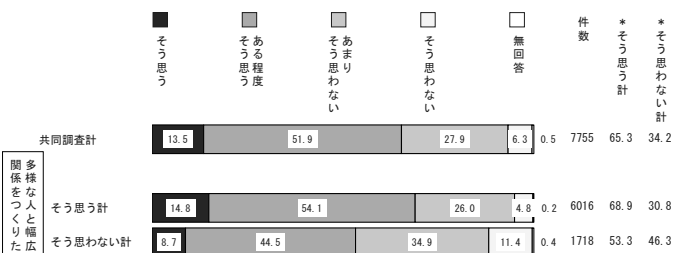
つながりの志向（第5章）

- [多様な人と幅広く関係をつくりたい] (77.6%)、[話をすれば、誰とでも、一致点を見出せる] (71.8%)
- しかし、[人は人、自分は自分で、自分が納得できればよい] (66.1%)とドライな気持ちもあわせもつ

- ◆ [関係をつくりたい]という思いの背景には
[評価されないと安心できない] (=承認欲求)もある
- ◆ 自律的キャリアを求められている人ほど承認欲求が強い



[周りの人に評価されないと安心できない]についての考え方



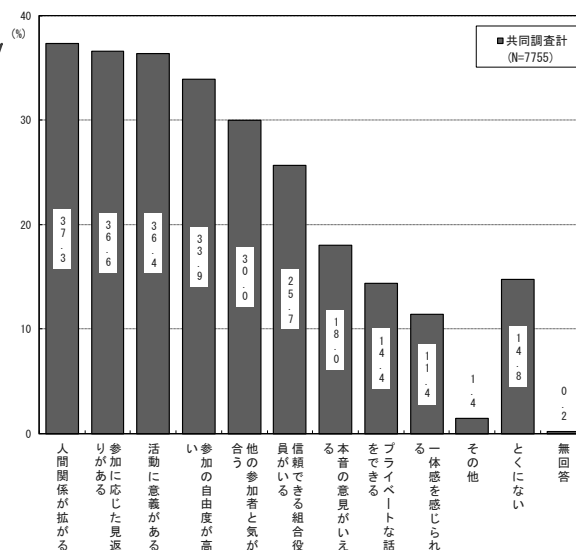
10

労働組合（第6章）

- 「組合ニュース、ビラを読む」、「レクリエーション・イベント」の参加を中心に、組合活動に参加・協力
 …労働組合の活動に参加したくなると思う条件とは？

- ◆ 労働組合の活動に参加したくなると思う条件（複数選択）は、「人間関係が広がる」、「参加に応じた見返りがある」、「活動に意義がある」、「参加の自由度が高い」が上位
- ◆ ただし、組合役員経験なしでは「とくにない」が2割
- ◆ 経験なしでも集会やレク、ボランティアに参加している層では、「人間関係が広がる」や「他の参加者と気が合う」などコミュニケーションにかかわる利点をあげる人が多い

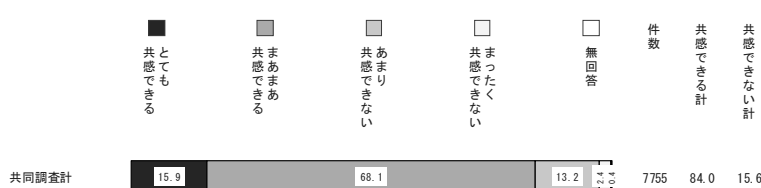
- ◆ 労働組合が対応すべき相談（複数選択）は、
- ① 職場のハラスメントや人間関係（59.0%）
 - ② 昇進や人事評価（50.1%）
 - ③ 「育児・介護・治療などと仕事の両立」（45.9%）
 - ④ 「職場・会社のコンプライアンス」（43.0%）



11

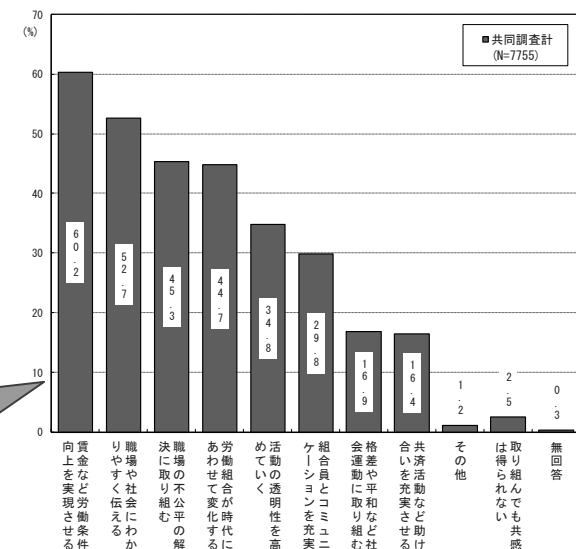
労働組合（第6章）

- 組合活動に＜共感できる＞は多数
 …労働組合が共感を得られる組織になるために強化すべき取り組みとは？



- ◆ 全体の84.0%が労働組合活動に＜共感できる＞
- ◆ 組合役員経験なし層でも＜共感できる＞は8割強

- ◆ 労働組合が共感を得られる組織となるために強めるべき取り組み（複数選択）は「賃金など労働条件向上を実現させる」がトップ、これに「職場や社会にわかりやすく伝える」が5割強で続く
- ◆ 一方、「格差や平和など社会運動に取り組む」や「共済活動など助け合いを充実させる」は2割弱と少ない

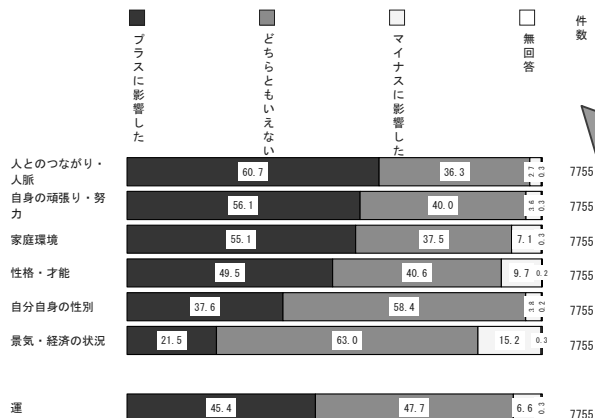


12

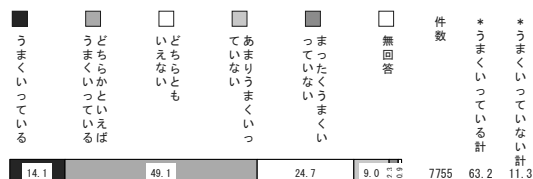
これまで、そして、現在の生き方（第7章）

➤ 全体的にみて、これまでの生き方はうまくいっている。人とのつながり、自身の頑張り、家庭…、そして運

- ◆ 全体的にみてくうまくいっている>と63.2%がみている
- ◆ 大学卒・大学院修了は特に肯定的にみている
- ◆ 結婚していること、子どもがいることも肯定感を強める



共同調査計



これまでの生き方にプラスに影響したものは

- ◆ 自ら獲得したもの
[人とのつながり] (60.7%)、[頑張り・努力] (56.1%)
- ◆ 生まれもったもの
[家庭環境] (55.1%)、[性格・才能] (49.5%)
…に加えて[運] (45.4%)

⇒ 大学卒・大学院修了で[運]が「プラスに影響した」が多い
現在の成功は、偶然の結果とも捉えられている
(いわゆる“成功ガチャ体験”)
これからの生き方ではリスクも許容
(お金の使い方・増やし方で「リスクがあっても資産運用」)

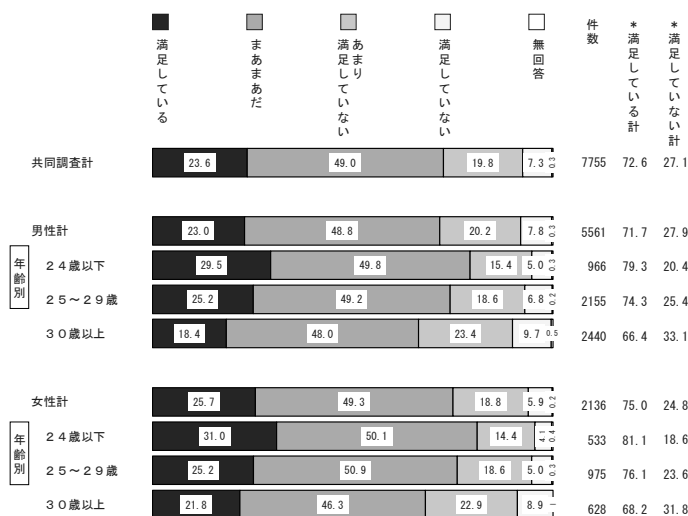
13

これまで、そして、現在の生き方（第7章）

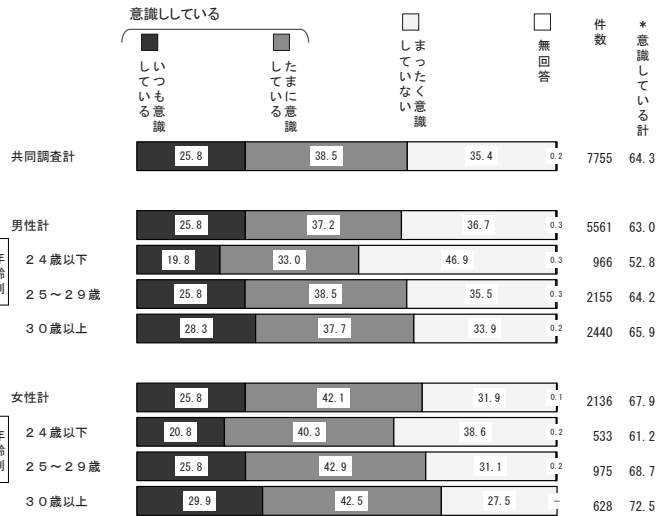
- 自分で自由に使える時間には72.6%が「満足している」
- しかし、日ごろの生活でタイムパフォーマンスを64.3%が「意識している」

- ◆ 若者のなかでも年齢とともにタイパを意識
- ◆ 子どものいる女性が特に意識

自分で自由に使える時間に満足していますか



日ごろの生活でタイムパフォーマンスを意識していますか



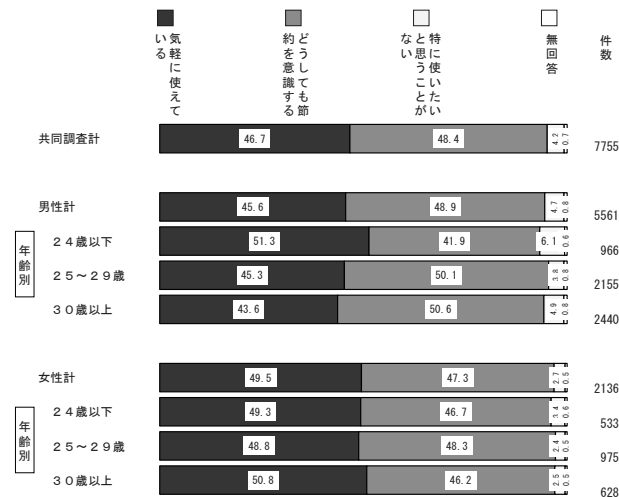
14

これまで、そして、現在の生き方（第7章）

➤ お金は「どうしても節約を意識」が48.4%

◆ 子どもがいる男性が特に節約を意識

日ごろ、お金を使いたいと思ったモノ、コトに気軽にお金を使っていますか



◆ 女性は「節約して堅実に」
男性、なかでも30歳以上は「リスクがあっても資産運用」

今後のお金との使い方、増やし方として考えていること（複数選択）

		使 自 分 の 成 長 に も つ と	た い 節 約 し て 堅 実 に 使 い	産 運 用 を し た い	リ ス ク が あ つ て も 資	副 業 で 取 入 を 増 や し たい	貯 金 せ ず し て 好 き な の を 使 先 に し たい	共 済 や 保 険 で 得 来 に	そ の 他	特 に 考 え て い ない	無 回 答	件 数
	共同調査計	39.7	35.2	33.8	30.9	22.0	14.8	1.5		7.9	0.3	7755
年 齢 別	男性計	39.8	31.9	37.1	31.5	22.7	13.6	1.4		8.0	0.3	5561
	24歳以下	42.1	30.7	26.3	28.8	25.9	9.5	1.3		10.7	0.4	966
	25～29歳	41.9	30.0	37.8	31.2	22.6	12.9	1.0		7.6	0.3	2155
	30歳以上	37.0	34.0	40.9	32.9	21.5	15.8	1.7		7.4	0.3	2440
年 齢 別	女性計	39.5	44.0	25.2	29.5	20.3	18.2	1.8		7.3	0.4	2136
	24歳以下	41.5	46.0	17.4	25.9	23.1	13.1	0.6		6.6	0.8	533
	25～29歳	40.7	44.0	25.4	31.0	21.7	18.3	1.8		7.4	0.3	975
	30歳以上	36.0	42.4	31.5	30.3	15.8	22.5	2.7		7.8	0.2	628
学 歴 別	高校卒	36.0	32.0	27.5	33.4	24.3	12.7	1.5		10.0	0.4	2383
	高専・短大・専門卒	34.3	33.6	30.8	33.3	23.8	16.1	1.7		8.5	0.3	714
	大学卒	42.7	36.9	34.4	29.2	20.9	16.0	1.4		6.8	0.4	3725
	大学院修了	41.1	37.7	50.6	29.7	19.1	14.2	1.7		6.4	...	901

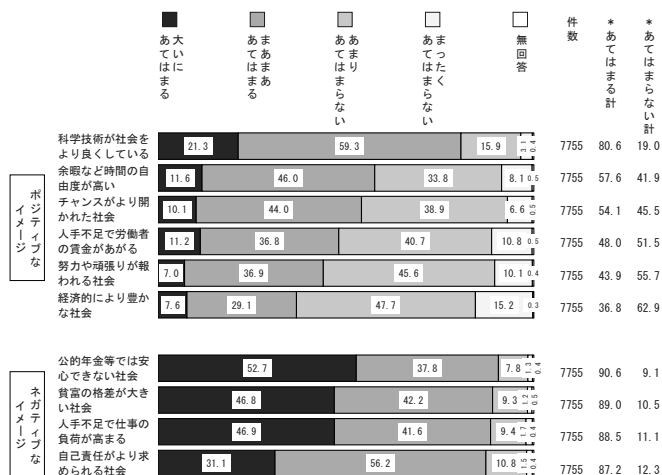
5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない
5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い
15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

15

将来社会のイメージとこれからの生き方（第8章）

➤ [科学技術が社会をより良くしている] (80.6%)・・・しかし[経済的に豊かな社会] (36.8%)ではない
➤ [自己責任がより求められる] (87.2%) 社会となる

・・・しかし[チャンスが開かれた] (54.1%)、[努力や頑張りが報われる] (43.9%)となるかは“？”



◆ 若者でも年齢が高くなるとポジティブなイメージが失われる
◆ ポジティブなイメージをもつ鍵は職場へのコミットメント
(働いている会社が好き、会社発展のために最善を尽くしたいなど)

	ポジティブなイメージ					ネガティブなイメージ					件数
	リ 科 学 技 術 が 社 会 を よ く し て い る	余 暇 な ど 時 間 の 自 由 度 が 高 い	レ チ ャ ン ス が よ り 開 か れ た 社 会	賃 金 が あ が る こ と が 多 い	努 力 や 頑 張 り が 報 わ れ る	社 会 的 に 豊 か な	公 的 な 金 銭 で は あ ん 心 が い ない	貧 富 の 格 差 が 大 き い	荷 重 が 多 い	自 己 責 任 が よ り 求 め ら れ る	
共同調査計	80.6	57.6	54.1	48.0	43.9	36.8	90.6	88.5	88.5	87.2	7755
男性計	80.1	57.9	54.4	49.9	44.1	39.1	89.8	88.8	88.3	87.0	5561
年齢別											
24歳以下	81.6	64.8	62.1	55.9	53.1	48.3	85.1	84.6	88.7	86.1	966
25～29歳	81.4	58.8	56.6	50.3	45.7	39.4	90.7	89.0	87.9	87.1	2155
30歳以上	78.2	54.3	49.3	47.1	39.1	35.2	90.9	90.3	88.5	87.3	2440
女性計	82.3	57.3	53.7	43.3	43.8	30.9	92.7	89.7	88.9	87.8	2136
年齢別											
24歳以下	81.8	62.7	62.7	52.0	54.4	40.9	89.9	87.2	88.6	86.3	533
25～29歳	84.2	57.4	53.0	42.9	44.2	30.5	93.9	90.6	89.2	88.6	975
30歳以上	79.6	52.4	47.3	36.5	34.2	23.1	93.3	90.3	88.7	87.9	628

5.0 「共同調査計」より5ポイント以上少ない
5.0 「共同調査計」より5ポイント以上多い
15.0 「共同調査計」より15ポイント以上多い

16

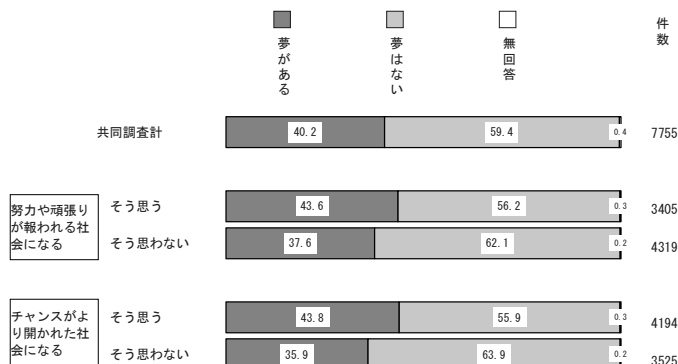
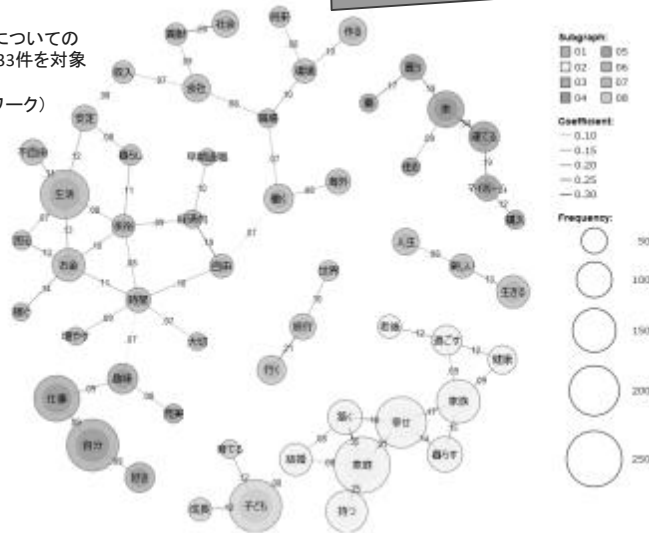
将来社会のイメージとこれからの生き方（第8章）

- 「夢がある」は40.2%
- 将来社会のイメージがポジティブでも、ネガティブでも、あまり変わらない
- 「夢」は
お金や時間に困らないこと、
家庭をつくること（安定した世帯形成）
に「仕事」「趣味」が続く

「夢」の内容として多く記載されたものは

- ◆ 安定した生活（「お金」に「不自由」しない、「時間」に「余裕」）
- ◆ 結婚して幸せな家庭をつくる（「結婚」「子ども」「家」）

「夢」の内容についての
自由記述2,133件を対象
とした分析
（共起ネットワーク）

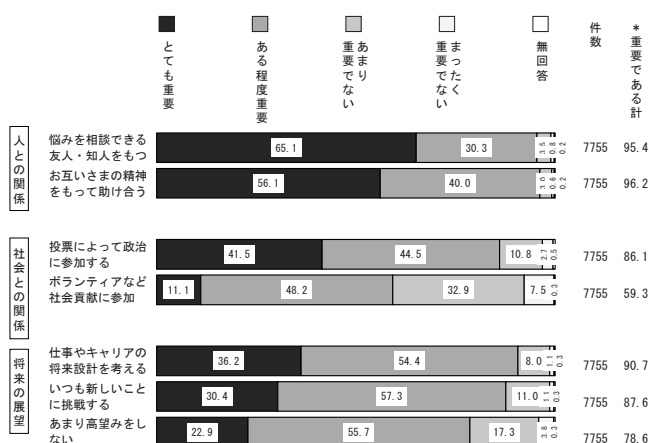


17

将来社会のイメージとこれからの生き方（第8章）

これからの生き方で大切にしたいことは？

- 人との関係は重要
 - [悩みを相談できる友人・知人をもつ]95.4%
 - [お互いさまの精神をもって助け合う]96.2%
- 投票による政治参加も重要
 - [投票によって政治に参加する]86.1%
 - [ボランティアなど社会貢献活動に参加する]59.3%
- 将来設計や挑戦も重要
 - [仕事やキャリアの将来設計を考える]90.7%
 - [いつも新しいことに挑戦する]87.6%
 - ただし、[あまり高望みをしない]も78.6%



将来について考えることを重視
しかし、希望を抑制する意識も
（[あまり高望みをしない]ことも重要）

18